

高次脳機能障害支援養成研修カリキュラム【基礎研修講義】

	講義名		時間 (分)	科目	内容
講 義	00	高次脳機能障害支援者基礎研修とは	5	基礎研修の趣旨説明	本研修の対象となる障害・研修の構成
	01	高次脳機能障害とは	18	障害の定義	高次脳機能障害の定義・Q & A・各論の紹介
	02	高次脳機能障害の診断・評価	30	障害特性の理解	典型画像と経過・症状の現れ方
					問診・神経心理学的評価 【日常生活で気づくこと・留意すること】
	03	病院で行うリハビリテーション	35		医学的リハビリテーション
					病院から地域へ 【診断書のポイント・地域支援体制】
	04	失語症とコミュニケーション支援	35	失語症とコミュニケーション支援	失語症と具体的な対応の要点
	05	制度利用	29	制度利用	障害者手帳と総合支援法サービスを中心に
	06	相談支援	34	地域におけるリハビリテーション	情報収集とアセスメント
	07	生活訓練	39		自立訓練(生活訓練)における支援の取組
演 習	08	復職・就労移行支援	35		障害福祉施設及び障害者雇用施策における取組
	09	生活と支援の実際	27		就労継続支援 B 型事業所の例から
	01	障害特性の理解	80 ～ 90	診断・評価体験	「順唱」「線分二等分」や「描画」等の体験 (注意や記憶の働き等の理解) MMSE/WAIS/BIT/BADS など、基本対応
	02	障害特性に応じた支援	80 ～ 90	退院時支援の実際 情報収集とアセスメント	課題提示
					グループ検討・発表
					解説・質疑
	03	生活訓練の実際	80 ～ 90	生活訓練の実際	課題提示
					グループ検討・発表
					解説・質疑
	04	復職・就労移行支援	80 ～ 90	復職・就労移行支援	課題提示
					グループ検討・発表
					解説・質疑

高次脳機能障害支援養成研修カリキュラム【実践研修講義】

	講義名		時間 (分)	科目	内容
	01A	障害特性に応じた支援・地域の支援体制	16		地域における高次脳機能障害の支援体制
講義	01B1	認知症・発達障害との共通点と相違点(前半)	42	障害特性に応じた支援	認知症との共通点と相違点
	01B2	認知症・発達障害との共通点と相違点(後半)	26		発達障害との共通点と相違点
	02A	小児期における支援	24	ライフステージに応じた支援	小児期発症の高次脳機能障害の特徴／復学支援
	02B	長期経過とフォローアップ	24		各ライフステージにおける高次脳機能障害の特徴／支援
	03A	多職種連携・地域連携:チームアプローチの重要性	34	チームアプローチの重要性と支援の原則	地域連携とチームアプローチ
	03B	多職種連携・地域連携 家族(きょうだい)支援・当事者家族会の活動	28	家族(きょうだい)支援・当事者家族会の活動	高次脳機能障害者家族支援
	03C	コミュニケーション支援	38	コミュニケーション支援(地域生活・職場での支援)	失語症・高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の理解
	03D	支援の実践的な枠組みと記録	37	支援の実践的な枠組みと記録	支援の実践的な枠組み・プロセス／アセスメント票と支援の手順書の理解／記録方法
	03E	自動車運転再開支援	30	自動車運転再開支援評価・手続き	高次脳機能障害者の自動車運転支援に関連する法制度、運転評価、課題や留意事項などの理解
演習	01	障害特性の理解と対応方法	160 ～ 180	1.障害特性の理解と対応方法 2.障害特性とアセスメント	高次脳機能障害者の心理と対応法の理解
					障害特性に基づくアセスメント
					グループワーク(障害特性の把握と対応方法のディスカッション)
					対応方法演習(ロールプレイ)
					グループワーク及び発表(対応方法の振り返りと支援計画検討)
	02	環境調整による支援と記録に基づく支援の評価	160 ～ 180	1.環境調整の考え方と方法 2.記録の収集と分析	強みや好みを活かす視点
					環境調整の考え方
					環境調整の方法
					行動の記録の方法
					記録の整理と分析
					再アセスメントと手順書の修正
					チームアプローチを学ぶ(個別支援計画作成演習)
					グループ検討／まとめ